

図書館へいこう!



2020上半期 芥川賞・直木賞 そろえています!

芥川賞W受賞

『首里の馬』 高山羽根子 / 著

中学生の頃から沖縄の郷土資料館の資料整理を手伝う未名子は、世界の遠く隔たった場所にいる人たちにオンライン通話でクイズを出題するオペレーターの仕事をしていた。



『破局』 遠野遙 / 著

元高校ラグビー部員の大学生のストイックでリア充、けどどこか奇妙なキャンパスライフを描く。初の平成生まれの芥川賞受賞作。



直木賞

『少年と犬』 馳星周 / 著

傷つき、悩み、惑う人々に寄り添っていたのは一匹の犬だった。犬を愛する全ての人々に捧げる感動作。全6編収録。



話題の新着本

『一人称単数』 村上春樹 / 著

世界は流れていく。物語が光景をとどめる。表題作ほか「石のまくらに」「チャーリー・パーカー・プレイズ・ボサノヴァ」など8作を収録した6年ぶりの短篇小説集。



『毒島刑事最後の事件』

中山七里 / 著

SNSの悪意×匿名性×依存性が引き起こす厄災。鋭い舌鋒で容疑者を落とす百戦錬磨の刑事・毒島が卑劣な敵を相手に最後の戦いに挑む。



『そこに無い家に呼ばれる』

三津田信三 / 著

自分の家が、一番怖い場所となる。蔵から発見されたのは、封印が施された3つの記録。それはすべて「家そのものが幽霊」だという奇妙な内容で…。



『純喫茶パオーン』

椰月美智子 / 著

創業約50年の「純喫茶パオーン」。店主の孫である「ぼく」が、小学5年・中学1年・大学1年の頃にそれぞれ出会った不思議な事件と温かな日々を描く。



『スキマワラシ』 恩田陸 / 著

古道具屋を営む兄・太郎と、物に秘められた“記憶”が見える弟・散多。ある日、ふたりはビルの解体現場に現れる少女の都市伝説を耳にする。ファンタジックミステリ。



『二百十番館によろこ』

加納朋子 / 著

就活に挫折して以来、実家でオンラインゲーム三昧に日々を送る俺は、親に追放されるように離島での暮らしを始める。ニート仲間を集めてシェアハウスを営むうちに、人生が少しずつ広がってゆき…。



今月のBEST本

(7月の貸出回数上位本)

『鬼滅の刃』 吾峠 呼世晴 / 作

主人公が鬼と化した妹を人間に戻す方法を探すために戦う姿を描いた話題のマンガ本です。



本のご寄贈をいただき、ありがとうございました

北町 松下康子 様 北町 山田郁子 様

9・10月月のイベント情報

9/12 14:00～ おはなし会

9/19 14:00～ おはなし会

9/26 14:00～ おはなし会

10/3 10:00～ マスクプレイ・オペレッタ

「いなかのねずみととがいのねずみ」

